

ウイルス対策について ～ウイルス定義ファイルのアップデート～

ウイルス対策について ～ウイルス定義ファイルのアップデート～

Part1: 基本的対策 — No. 2

導入



ウイルス対策ソフトを導入したので、当分の間、ウイルスによる被害の心配は無い。そう考えている人は、ウイルスの危険性を、正しく理解していない人かもしれません。

用語解説

●ウイルス対策ソフトウェア

ウイルスを検査、駆除するソフトウェア。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「ウイルス対策ソフトウェア」の項より）

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

導入

日々、次々に新しい**ウイルス**が開発され、インターネットなどを通して蔓延(まんえん)しているので、たとえ**ウイルス対策ソフト**をインストールしたパソコンであっても、感染が広がってしまう恐れがあるのです

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

●ウイルス対策ソフトウェア

ウイルスを検査、駆除するソフトウェア。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「ウイルス対策ソフトウェア」の項より）

導入

会社のウイルス対策にも、こんな気づきが必要なのではないでしょうか。

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 I T時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

事例

原田さん、ちょっと良いかな。



事例

はい、何でしょう？

事例

これ、昨日の建築設計協会懇談会で、
トウカイ工務店さんから貸して頂いた
パーススケッチの画像ファイルだ。



事例

今後、うちが似たような
物件の設計をする時の
参考になると思って
借りてきた。

データをコピーして
おいてくれないか？

わかりました。
夕方までにやっておきます。

事 例

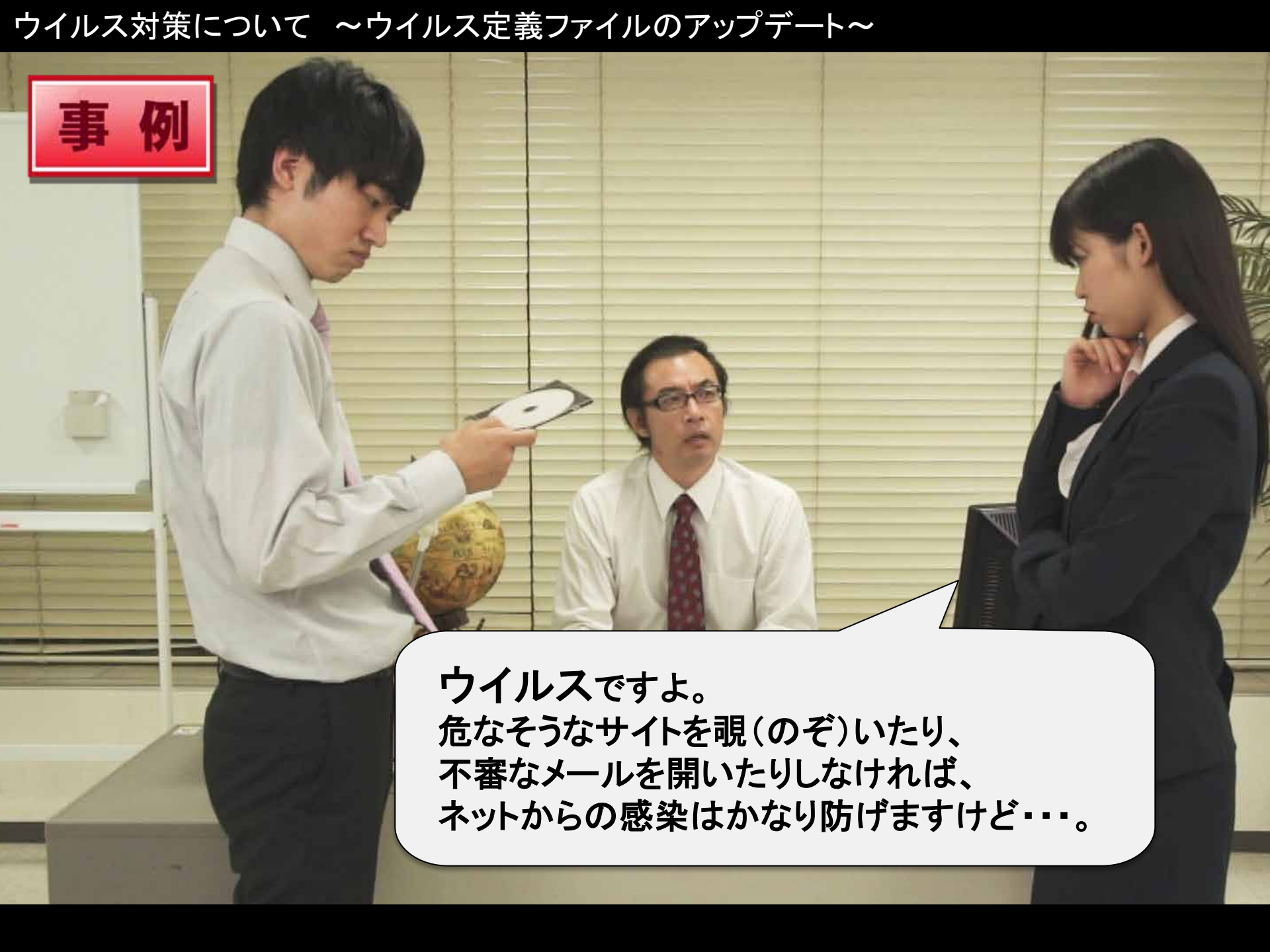
ちょっと待って、
それって、大丈夫かな・・・。

事例



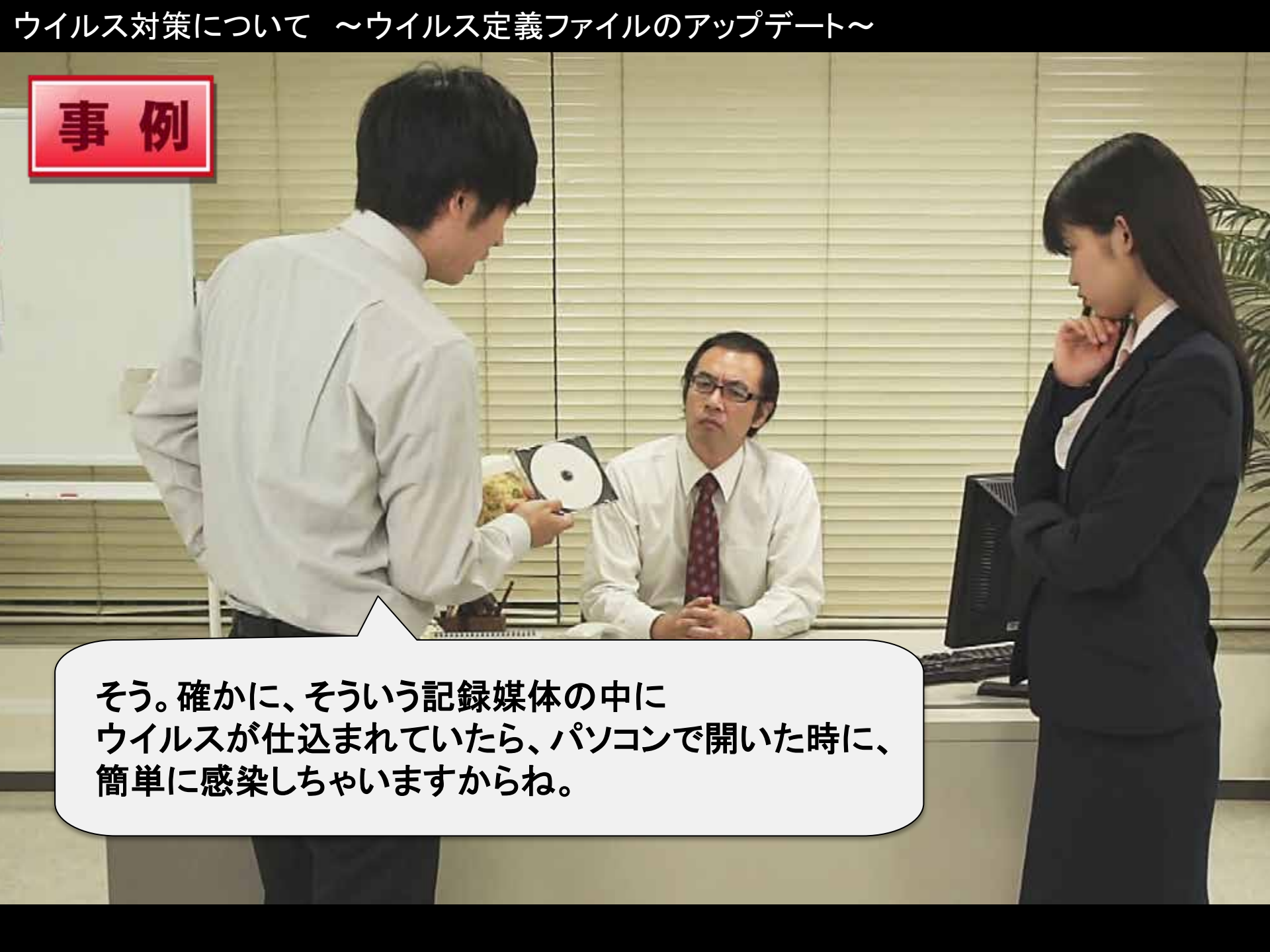
大丈夫って、
どういうことだい？

事例




ウイルスですよ。
危なそうなサイトを覗(のぞ)いたり、
不審なメールを開いたりしなければ、
ネットからの感染はかなり防げますけど・・・。

事例

A photograph of an office scene. A man in a white shirt stands on the left, holding a CD-ROM and a small box. He is talking to a man in a white shirt and tie who is sitting at a desk. A woman in a dark suit stands on the right, looking at the man at the desk. A speech bubble from the man at the desk contains Japanese text.

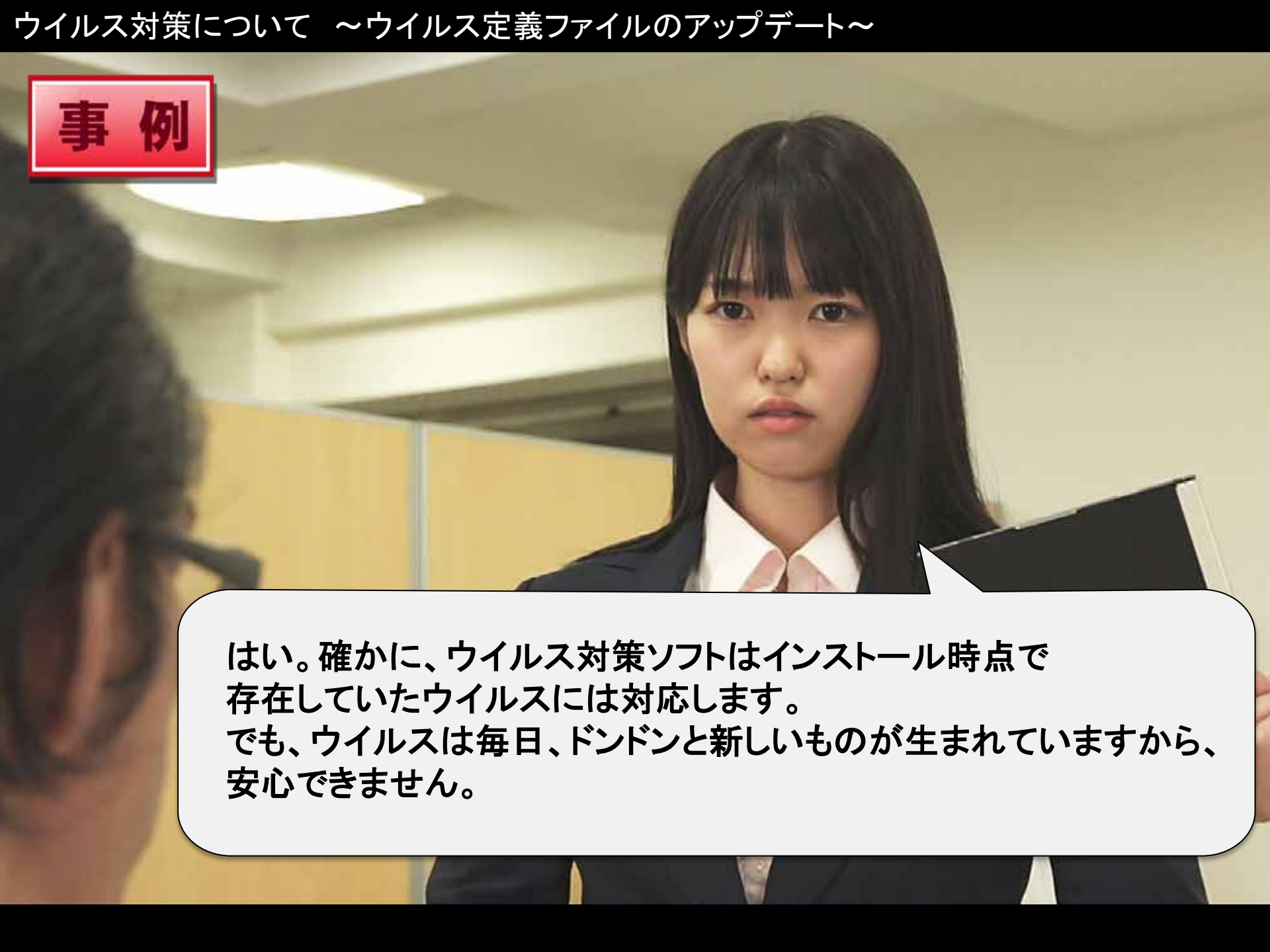
そう。確かに、そういう記録媒体の中に
ウイルスが仕込まれていたら、パソコンで開いた時に、
簡単に感染しちゃいますからね。

事例

A man with dark hair and glasses, wearing a white dress shirt and a red patterned tie, is seated at a desk. He has a worried expression on his face. To his left, a person's arm in a white sleeve is holding a CD jewel case open, showing the disc. In the background, there is a window with horizontal blinds and a small globe on the desk.

でも、うちの会社のパソコンには、
全部ウイルス対策ソフトが入ってるんだらう？
万一感染していても、そのソフトが防いでくれるのと違うか？

事例



はい。確かに、ウイルス対策ソフトはインストール時点で存在していたウイルスには対応します。
でも、ウイルスは毎日、ドンドンと新しいものが生まれていますから、安心できません。

事例

へー。ウイルス対策ソフトって、
ただ入れとけば良い、
ってものでもないんだ。

ええ。インストールしただけじゃなく、
その後、最新のウイルスへの対策ができて、
初めて信頼がおけるようになるんです。

事例

ナルホドー！よく知ってたね、斉藤さん。
そうやって、社員1人1人が万全の
ウイルス対策をとってくれば、
わが社も安心だ。

ウレシー！
社長に誉められた！頑張ります！

事 例

何言ってるの。
この間名取さんから教わった事の
請け売りじゃない。

ばれたか・・・。

▽▽▽

学習の意図



ウイルス対策ソフトは、ウイルスを検知するためのウイルス定義ファイルと呼ばれるデータファイルを内蔵しています。このデータファイルに保存されたウイルスに関する情報をもとに、ウイルスを検知し、駆除してくれるのです。

用語解説

●ウイルス対策ソフトウェア

ウイルスを検査、駆除するソフトウェア。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「ウイルス対策ソフトウェア」の項より）

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

用語解説

●ウイルス定義ファイル

個々のウイルスの特徴を記録したファイル。ウイルス対策ソフトウェアは、パターンファイルに記録された情報と検査するファイルとを見比べて、ウイルスかどうかを判断する。新種ウイルスが出現した場合は、セキュリティベンダから新しいパターンファイルが提供されるので、ユーザはパターンファイルを更新することで、新種のウイルスに対応することができる。ウイルス定義ファイルと呼ぶこともある。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「パターンファイル」の項より）

学習の意図



しかし、このデータファイルが最新のものでなければ、新しく生み出されたウイルスは、対策ソフトの検知の網を抜けて、侵入してしまうことになります。したがって、ウイルス対策ソフトをインストールしただけでは十分に機能しないのです。

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

●ウイルス対策ソフトウェア

ウイルスを検査、駆除するソフトウェア。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「ウイルス対策ソフトウェア」の項より）

学習の意図

「ウイルス対策」について、以下を学習しましょう。

1. ウイルス対策ソフトのウイルス定義ファイルを更新する

正しい対処法



ウイルス定義ファイルは、常に最新のものにしておきましょう。多くのウイルス対策ソフトは、ファイルの中に最新のウイルス定義があるかどうかを自動的にチェックし、必要に応じて更新を促すメッセージを表示してくれます。

用語解説

●ウイルス定義ファイル

個々のウイルスの特徴を記録したファイル。ウイルス対策ソフトウェアは、パターンファイルに記録された情報と検査するファイルとを見比べて、ウイルスかどうかを判断する。新種ウイルスが出現した場合は、セキュリティベンダから新しいパターンファイルが提供されるので、ユーザはパターンファイルを更新することで、新種のウイルスに対応することができる。ウイルス定義ファイルと呼ぶこともある。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「パターンファイル」の項より）

●ウイルス対策ソフトウェア

ウイルスを検査、駆除するソフトウェア。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「ウイルス対策ソフトウェア」の項より）

正しい対処法



その場合はすぐに新しいウイルス定義ファイルに更新し、新種のウイルスにも対応出来るように準備しておきましょう。

用語解説

●ウイルス定義ファイル

個々のウイルスの特徴を記録したファイル。ウイルス対策ソフトウェアは、パターンファイルに記録された情報と検査するファイルとを見比べて、ウイルスかどうかを判断する。新種ウイルスが出現した場合は、セキュリティベンダから新しいパターンファイルが提供されるので、ユーザはパターンファイルを更新することで、新種のウイルスに対応することができる。ウイルス定義ファイルと呼ぶこともある。。

【出典】

情報セキュリティ読本 I T時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

（「パターンファイル」の項より）

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

正しい対処法



またソフトウェアが期限切れの際にもメッセージが表示されますので、その時は速やかに更新手続きを行いましょう。“転ばぬ先の杖”の例えのとおり、**ウイルス対策**については、感染する前にどれだけ準備が出来ていたかが問われるのです。

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 I T時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

確認テスト 問題

No.2 ウイルス対策について ～ウイルス定義ファイルのアップデート～

Q1

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『社員Aはウイルス対策ソフトをインストールしたので、しばらくソフトを更新せずにそのまま使い続けていた。』

選択肢

1. 正しい

2. 誤り

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q1

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『社員Aはウイルス対策ソフトをインストールしたので、しばらくソフトを更新せずにそのまま使い続けていた。』

正解	選択肢
	1. 正しい
●	2. 誤り

【解説】

もし何も問題が無くても、ウイルスは常に新しいものが生まれるので、更新しないのは危険です。定期的に対策ソフトの更新を行ない、ウイルス定義を最新のものにしておく必要があります。